

計算問題の  
正しい解き方ドリル 2年  
おかわり問題 解答解説

①たし算

- ①88 ②77 ③73 ④91 ⑤137 ⑥176  
⑦57 ⑧40 ⑨123 ⑩116 ⑪153  
⑫102

ポイント

- ・一の位、十の位の順に、位ごとにたすことを理解させてください。位をそろえて書くことも意識させましょう。くり上がりがある場合は、くり上げた1を十の位の数字の上に書きます。また、十の位を計算するときに、くり上げた1をたし忘れていないか注意します。十の位の計算でくり上がる時には、百の位にそのまま1を書かせます。
- ・空いている位は0と考えて計算させましょう。

②ひき算、何百の たし算・ひき算

- ① ①51 ②62 ③10 ④67 ⑤49 ⑥56  
⑦9 ⑧12 ⑨37

ポイント

- ・一の位、十の位の順に位ごとにひくこと、空いている位は0と考えることに注意します。また、十の位が0になるときは、何も書かないことを理解させましょう。
- ・一の位だけでひけない場合、十の位から1くり下げます。また、くり下げた数に斜線をひき、上に1ひいた数を忘れずに書かせましょう。

- ② ①600 ②1000 ③300 ④500 ⑤100

ポイント

- ①②100が合わせて何個になるか考えましょう。
- ③～⑤100が残り何個になるか考えることを理解させましょう。
- ⑤1000は100が10個あるものと考えて重要です。

③3けたの たし算・ひき算

- ①369 ②596 ③765 ④650 ⑤241  
⑥413 ⑦556 ⑧126 ⑨84 ⑩57  
⑪48 ⑫78

ポイント

- ①～④何けたのたし算でも、位をそろえて書いて、一の位から順に位ごとにたします。くり上がりを忘れていないか注意させましょう。
- ⑤～⑫ひき算のときも、位をそろえて書いて、一の位から順に位ごとにひかせましょう。くり下がりを忘れていないかしっかり確認しましょう。

④計算の くふう、九九、かけ算

- ① ①96 ②81 ③83 ④95

ポイント

- ①②たし算だけの式では、たす順番を変えても答えは変わりません。ただし、( )のある計算では、( )の中の計算を先にしなければいけないことに注意しましょう。
- ③④左から順番に計算するのではなく、計算の順序を工夫することで計算が簡単になることを理解させましょう。たして何十になる計算を先に行うことがポイントです。

- ② ①12 ②28 ③72 ④5 ⑤42 ⑥48  
⑦20 ⑧9 ⑨64 ⑩21 ⑪10 ⑫24  
⑬66 ⑭48 ⑮80 ⑯99

ポイント

- ①～⑫九九をきちんと覚えているか確認しましょう。7のだんの九九は覚えづらいので、リズムに乗って覚えられるまで、声に出して覚えましょう。
- ⑬⑭「かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけふえる」というかけ算のきまりを使って考えさせます。
- ⑮⑯「かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになる」というかけ算のきまりを使って計算します。例えば、⑮の $10 \times 8$ は、 $8 \times 10$ と同じ答えになります。 $8 \times 10$ は $8 \times 9$ より8大きい数になることを理解させましょう。